

無散水消雪施設を整備しています。

無散水消雪施設とは

道路の中に放熱管を埋め、この放熱管の中に地下水を送って、地下水の持つ熱を効率よく路面に伝えることにより、雪を融かし路面の凍結を防ぐ消雪方法です。

【全体計画】(下の区)

電線共同溝 L=600m

無散水消雪工 (歩車道)
L=600m

※歩道(両側)と車道を合わせた施工延長です。

【H28工事概要】

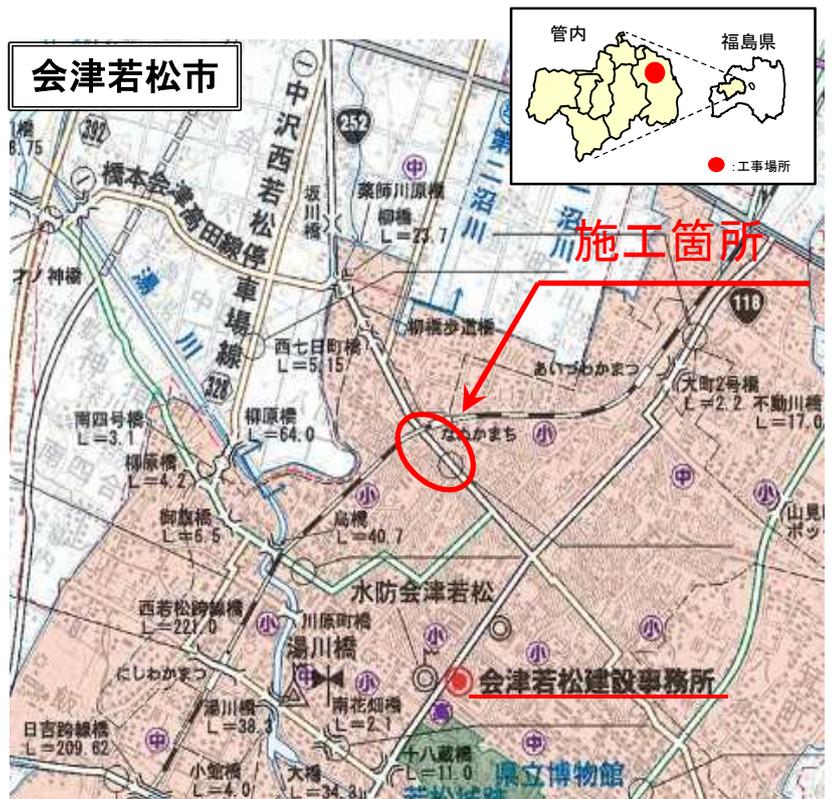
無散水消雪工 (歩車道)
L=400m

※歩道(両側)と車道を合わせた施工延長です。

【現場状況】

・無散水施設の集水管・排水管を施工しています。

・10月より車道部の無散水工の作業を行いますので、通行の際は、ご協力をお願いいたします。



無散水施設(集水管・排水管)を施工中の状態です。



至 国道49号

※9月16日の状況写真です。

無散水消雪の特徴

- ・路面に散水がないので、降雪時の通行・歩行が快適になります。
- ・舗装面の傷みが少なくなります。

設置後イメージ



現在施工しているのは、汲み上げた地下水を路面の管へ流したり、冷えた水を地下へ還したりする、大動脈や大静脈のような役割をする管を設置しています。



完成予定日
平成29年3月下旬



※この事業に関するお問い合わせ先
会津若松建設事務所 道路課 TEL)0242-29-5440